

高等教育活性化シリーズ 374 (通算 705 回)

2018 年 9 月 11 日 (火)

Society 5.0・AI イノベーションを拓く――

データサイエンス人材の養成と教学展開 II

～ 深刻な質・量の人材ニーズ／カリキュラム／産業界連携／教員編成 ～

- ※ ビジネス・アナリティクスの適用領域／活用に必要なスキル・人材／SAS の高等教育支援
- ※ [埼玉工業大] AI 研究センター設立から工学部 AI 専攻の創設／自動運転 AI から AI 教育へ
- ※ [電気通信大] データアントプレナープログラムと D-DRIVE の展開／コンソーシアムの実際
- ※ [多摩大大学院] AI とデータサイエンス／デジタル社会での「知の再武装」／教学体制と運営

● 講師陣 ●

竹村 尚大 氏 / SAS Institute Japan (株) アカデミア推進室

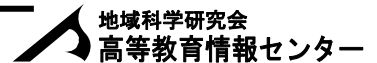
アカデミックプログラムマネージャー

渡部 大志 氏 / 埼玉工業大学 工学部 教授

田村 元紀 氏 / (国) 電気通信大学 産学官連携センター長 教授

今泉 忠 氏 / 多摩大学 大学院 経営情報学研究科 教授

2018 年 9 月 11 日 (火) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



日時: 2018 年 9 月 11 日 (火) 10:00~16:40
 会場: 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)
 千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833
 アクセス: 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」
 A1 出口より徒歩 3 分 <http://www.jec.or.jp/koutuu/>
 ※ 受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込) 42,000 円(税込)
 B. メディア参加(資料・音声 CD 送付) 43,000 円(送料、税込)
 C. 高等教育同人(☆) 20,000 円(税込)

- ※ メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。
- ※ なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。
- ※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。
- ☆ 高等教育計画経営研究所同人については KKJ の HP でご確認ください。
- ★ 平成 29 年度最新版!! 『大学一覧』、『短大一覧』、『高専一覧』(重版出来)、『法人一覧』好評発売中! 詳しくはウェブへ!!

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 口座名 <(株)地域科学研究会>
 ※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
 〒102-0082 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 374

年 月 日

データサイエンス人材の養成と教学展開 II

- (□に✓印を)
- 当日参加 □ メディア参加
 □ 郵便振替 □ 当日払い □ 銀行振込
 □ 請求書 □ 見積書 □ 領収書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

(書類宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00) 11:20	<p>□ ビジネス・アナリティクスに必要な人材と SAS の教育支援 ～ アナリティクス・スキル・ギャップの解消に向けて ～ SAS Institute Japan 竹村 尚大</p> <p>1. ビジネスにおけるアナリティクスの適用領域 (1) Customer Intelligence (2) 金融機関におけるリスク管理・不正検知 (3) IoT/AI</p> <p>2. アナリティクス活用に必要なスキル・人材 (1) 「ビジネス課題の解決」が目的である (2) 統計学・機械学習・AI (3) IT エンジニアリング</p> <p>3. SAS Japan の高等教育支援 (1) 実データを活用した産学連携講義 (2) データ活用の実例を紹介する講義 (3) SAS Joint Certificate Program (質疑応答)</p>
11:30) 12:50	<p>□ [埼玉工業大] AI 研究センター設立から工学部 AI 専攻の創設へ ～ 自動運転技術への取組み/日本ディープラーニング協会との連携 ～ 埼玉工業大学 渡部 大志</p> <p>1. AI 研究センターの設立 (1) 大学創立 40 周年記念事業 ものづくり研究センター (2) AI 大学としてのブランディングを目指して</p> <p>2. 埼玉工大の取り組む自動運転 AI の技術 (1) (SIP) 自動走行システム/大規模実証実験 (2) 深谷市公道における自動運転 (3) 大学発ベンチャー (株) フィールドオートの設立 (4) 完全自動運転 AI を目指して</p> <p>3. 工学部 AI 専攻の創設と人工知能教育への挑戦 (1) AI 人材世界争奪戦 (2) 日本ディープラーニング協会との教育連携 (質疑応答)</p>
13:50) 15:10	<p>□ [電気通信大] データアントレプレナーフェロープログラムの先進的取組 ～ D-DRIVE の採択/教学の展開/コンソーシアムの実際 ～ 電気通信大学 田村 元紀</p> <p>1. データアントレプレナー (1) 人材像 (2) 研修プログラムの設計 (3) 産学連携での試行</p> <p>2. データアントレプレナーフェロープログラム (1) 発掘 (2) 育成 (3) 活躍促進</p> <p>3. コンソーシアムの実際 (1) コンセプト (2) 参画機関 (3) 連携機関 (質疑応答)</p>
15:20) 16:40	<p>□ [多摩大] 社会人大学院生のためのデータサイエンス教育 ～ ビジネス×データサイエンス人材の育成 ～ 多摩大学 今泉 忠</p> <p>1. AI とデータサイエンス (1) データ・ドリブンのビジネス・ドリブンの (2) 教育プログラムで育成に必須なものは (3) データサイエンス教育≠統計学教育 (4) データサイエンス教育≠最適化問題解決教育</p> <p>2. 「知の再武装」: デジタル社会での人材育成プログラム (1) 何故, ビジネス×データ工学×データ分析か (2) 社会人教育で必要な「思考訓練」の場の提供 (3) パートタイム社会人大学院教育の構築 (4) MBA でデータサイエンス教育は必要か</p> <p>3. 社会人大学院でのデータサイエンス教育例 (1) データ・ドリブン人材の育成 (2) 課題解決のために必要な大局観と実践力 (3) 教学体制の構築とその運営 (4) まとめ (質疑応答)</p>